

タンネウシ 3



エゾシカの足跡



ロビー展

『大栄小学校

月号

版画展』

開催中！

今年も記念館ロビーにて、大栄小学校の生徒さん達の作品を展示しています。学芸会の遊戯の様子・ともだちの絵・北海道の民具など学年ごとにテーマを決めて作成。どの作品も大人顔負けの力作揃いです。是非、ご覧ください。

＊ロビー展のみの観覧は無料です



◇2月15日に行われた

「エゾモモンガ観察会」の様子をお伝えします

参加者を乗せたワゴン車は観察場所近くの駐車帯に到着。ここからはスノーシューやカンジキを履いて、徒歩でモモンガのねぐらのある木に向かいました。当日天気は快晴、夕陽をねらうカメラマンたちを尻目に、我々はそそくさと林の中



ねぐらから顔を出すモモンガ

へ歩を進めました。というのも、モモンガは夜行性の動物で、日没後20～30分で、樹洞やキツツキの古巣などを利用したねぐらから顔を出し、活動を始めます。そのため、日没前にねぐらにたどり着く必要があるからです。

予定通り、日没前にねぐらに到着。参加者はねぐらの穴から7mほど離れた位置にそれぞれ腰を下ろし、後はひたすらモモンガがねぐらの穴から顔を出すのを待ちました。

夕陽に照らされた雪面に木々の影が時間とともに長くのびていきます。空は次第に青みを帯び、やがてねぐらの穴も判別できないほどの暗さになりました。そろそろモモンガたちが活動を開始する時間です。

待機を始めてから30分ほど経過した頃でした。突然音もなく、穴から1頭のモモンガが顔を出すと、パッと木に張りつき、するするとねぐらの木を登りました。横枝にたど

り着いたモモンガは幅広の尾を背中に背負ったような特徴的なポーズで我々のほうをじっと見ていました。しばらくすると、モモンガは再び上に登り、飛膜と呼ばれる前肢と後肢の間の膜を広げると、音もなく滑空して、森の中に姿を消しました。時間にしてわずか1分ほど。まさにモモンガとの一瞬の出会いでした。(増田)



モモンガがねぐらから出てくるのを、寒さこらえて待っているところです

博物館本館入口に、ひな人形を飾っています！

今年も博物館本館入口に、ひな人形を飾っています。いまでは見かけない掛け軸も飾っています。すべて町内の方から寄贈していただいた資料です。

町内の小中高生の皆さんは入館料が無料です。家に飾ってあるひな人形と見比べてみて下さい。